

【全34事業・細目61事業のうち抽出 8 事業・細目15事業】
 未達確定：2/15事業（うち新型コロナウイルスの影響あり：2事業）
 達成困難：2/15事業（うち新型コロナウイルスの影響あり：2事業）
 順調：10/15事業
 達成済：1/15事業

「令和2年度磯子区運営方針」抽出事業（8事業）の振り返り（上半期）

施策名	今年度の主な施策等の内容 (目標等)	上半期（令和2年4月～9月分）		事業評価委員会委員の主な意見
		主な実績	現状の課題と対応策等	
安全・安心なまち	〔1〕災害時安否確認支援 ①災害時安否確認バンダナの配布と活用方法の周知 区内全戸	①バンダナ60,000枚作成（9月）	①連合自治会町内会を中心に配布するが、全戸配布に向けて、連合未加入の自治会町内会や自治会町内会未加入世帯への配布方法を工夫する必要がある。	①大規模災害が起きた際、各戸の安否確認は非常に大変。区役所が全戸配布をしてくれて非常に助かる。
	〔2〕管理不全空家等の対策 ①管理不全空家の全数調査及び結果に基づいた指導の実施	①樹木の繁茂状況（夏季）を確認する必要がある空家の現地調査を実施（7月、59件）	①59件のうち15件について、建物の除却等による改善が確認された。改善が確認できなかった物件については、所有者調査のうえ、適正な管理を促す通知を送付するとともに、通知の発送頻度等について検討する。引き続き、残り27件の空家について現地調査を実施する。	
魅力あふれるまち	〔3〕区の魅力の創出・発信 ①区の魅力を伝えるプロモーションパンフレットの作成及びホームページでの発信 ②磯子まつりの開催 <u>来場者満足度90% 〔中止〕</u>	①コンテンツ等を検討し、作成を進めている。 ②第44回磯子まつり（9月27日） 中止 ○部会（イベント・出店・パレード） ・書面開催（4月） ・中止（8月） ○磯子まつり振興委員会 ・書面開催（4月） ・磯子まつりの中止を決定（6月） ・中止（9月）	①年度末までに完成できるよう、スケジュール管理を行っていく。 ②来年度の磯子まつり開催に向けて、新しい生活様式を踏まえた開催内容を検討する。	②先が全く読めない状況の中、実施するかしないかではなく、どのような形であれば実施できるのか、工夫していくことも必要だと思う。
	〔4〕商店街のにぎわいづくり ①商店街朝市の開催 <u>6回〔0回（3回中止）〕</u> ②商店街魅力発信イベントの実施 1回	①0回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回（5、7、9月） 中止 ） ②「いそご商店街宝くじ」として、10月10日からの実施を決定	①新型コロナウイルス感染拡大防止と朝市への集客・参加店舗の確保の両立が難しいため中止。1月からの再開に向けて、区商連と意見交換を行っている。 ②参加店舗においてスムーズにイベントを実施できるよう、また、感染症対策を十分に行うよう、区商連と連携しながら、参加店舗への案内を丁寧に行っていく。	①地域活動や経済活動の活性化は、区民の方を元気に前向きにしてくれるため、朝市など、区民が元気になる仕掛けづくりを、感染症対策を行いながら工夫して再開してほしい。

施策名	今年度の主な施策等の内容 (目標等)	上半期（令和2年4月～9月分）		事業評価委員会委員の主な意見
		主な実績	現状の課題と対応策等	
ともに支えあう暮らしがやすいまち	〔5〕保護者の悩みに寄り添った子育て支援 ①子育て支援連絡会の区内全域での開催 計8回（4エリア各2回） ＜怒らない子育ての推進＞ ②怒らない子育て紹介講座の実施 1回 ③怒らない子育てサポーター基礎講座の実施 1回 ④怒らない子育て方法実践講座の実施 1会場15人 ⑤怒らない子育て方法実践講座のフォローアップ 講座の実施 2回計15人	①関係団体と意見交換会（8月） 11月までの開催（4エリア各1回）に向け準備 ②実施に向けて開催時期を検討 ③12月までの開催に向けて準備 ④中止を検討 ⑤11月の開催に向けて準備	①地区担当の保健師と地域子育て支援拠点が連携し、対象者のニーズに合った支援方法を検討する必要がある。 感染防止のため、参加団体を制限して実施する必要がある。 ②引き続き、開催時期等を検討する。 ③⑤感染症対策を講じた上で開催できるよう、引き続き、準備を進めていく。 ④新型コロナウイルス感染症の影響により開始時期が遅れ、連続講座として必要な回数が開催できないため、中止を検討している。情報提供が必要な方は、個別に対応していく。	
	〔6〕地域とともに取り組む児童虐待防止 ①地域や保育・教育機関と連携したエリア別児童虐待防止連絡会の区内全域での開催 6エリア計14回《6エリア計6回》	①6エリア計6回 (1エリアあたり各1回) 各エリアでの2回目以降の開催日が決定	①地域で活動する支援者から、新型コロナウイルス感染拡大の影響による支援の場での不自由などを聞き取り、効果的な支援方法を学びあう場とするため、会の進め方を検討する。 大人数での会議は密になりやすく難しいが、広い会場を確保するなど工夫しながら実施していく。	
	〔7〕磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進 ①スイッチON磯子事業補助金活用事業数 93事業 ②第4期磯子区地域福祉保健計画の策定	①93事業に対し補助金の交付を決定 スイッチON磯子推進組織への支援を通じた事業の推進（9地区） ②第4期計画策定に向けた庁内関係会議を開催（2回） 策定・推進検討会（1回） 各種分野部会・地区部会（各1回） 地区別計画策定のための地域情報収集・アンケート（9地区） ワークショップ（6地区）	①活動を再開している地区は少なく、再開に向けて感染症対策を踏まえた工夫が必要となっている。区社会福祉協議会が作成したリーフレット等を配布し、情報提供や開催支援をしながら取組の推進を図っていく。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた地区別ワークショップが開催できず遅れが生じている。 区社会福祉協議会と計画内容について協議し、素案を作成中。事前アンケートなどによる時間短縮、少人数方式のワークショップへの変更など、感染症対策を実施しながら地区別計画策定の支援を進めていく。	②施設に認知症の方が来た時の対応について、施設職員も知っておく必要がある。ある施設の職員は、地域ケアプラザと連絡をとり、対応したと言っていた。認知症の方の見守り方法について、公共施設の協力も含めて考えていけると良いのではないか。
	〔8〕多文化共生の推進 ①全ての窓口で利用可能な音声翻訳機の配備 《配備》	①配備完了（7月） 区役所各フロアに各1台（計6台）、外国籍の保護者がいる保育園（1園）に1台配備 利用者に提示する5か国語分のご案内を各課に配付（9月）	①機器の特性に応じた利用方法の工夫や、音声翻訳機があることの案内表示など、利用環境の改善を進めていく必要がある。	①「多文化共生の推進」という表題に対して、事業は音声翻訳機の配備のみとなっている。多文化共生はこれからの時代、非常に重要な関わらず、少し工夫が足りない。